

おおきに健康 歯とお口から

Vol.03
News
Letter

大阪大学歯学部附属病院 広報誌 <http://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/>

新しい年度が 始まりました



副病院長 村上 伸也

歯学部附属病院も、入学や入社の時期となる4月から新しい年度が始まりました。新しいスタッフも迎えて、本年度も「阪大歯学部附属病院があって良かった」と、皆さんに思っただけの病院であり続けられるように、改善を続けてまいります。

この4月から新しく「国際歯科医療センター」が発足しました。海外からの患者さんや、臨床研修を希望する外国人歯科医師の受け入れを担当する部門として、歯科医療の国際化に対応します。また、当院で受診されている患者さんが海外に赴任される際には、現地の歯科医療機関をご紹介できるように体制を整えてまいります。

同じく4月より、「口唇裂・口蓋裂・口腔顔面成育治療センター」を当院の1階に開設いたしました。こちらは、専門の異なる歯科医師が集い、出生時から生涯に渡って、患者さんに寄り添い、患者さんの口の機能を守り育むセンターとしての役割を務めます。くわしくは、中の特集記事をご覧ください。

これからも、安心、安全、快適な歯科治療を提供してまいります。今年も歯学部附属病院の活動にご期待ください。

内面

- 特集 1.
□唇裂・□蓋裂・□腔顔面成育治療センターを開設しました。
- 特集 2.
総合技工室の活動
- 特集 3.
国際歯科医療センターが始動します。

お口の相談コーナー・お口のマメ知識

裏面

- 統計情報
 - ・ 1月～3月の患者数等
 - ・ 外国籍の患者数 (外来)
- 病院概要とお知らせ



口唇裂・口蓋裂・口腔顔面成育治療センターを開設しました。



テープカットする前田芳信病院長（センター長：右）と古郷幹彦副センター長（4月1日開設にて）

●治療する疾患

口唇裂・口蓋裂、その他顎顔面に先天性疾患のある患者さん

●治療内容

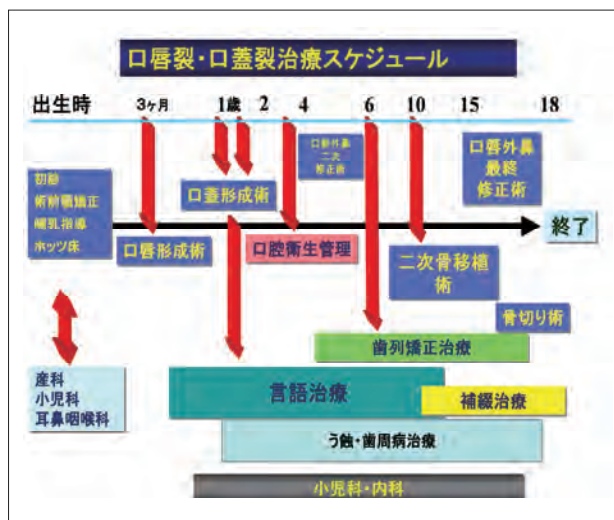
胎児オリエンテーション、新生児オリエンテーション、新生児顎誘導（ホッツ哺乳床作成）、哺乳指導、遺伝カウンセリング、手術（口唇形成術・口蓋形成術、顎裂部二次骨移植術、顎変形症手術、咽頭弁移植術、口唇外鼻修正術等）、言語治療、歯列矯正、う蝕予防、摂食嚥下指導、う蝕治療、欠損補綴（インプラントも含む）、歯周外科

* 治療方法・治療時期は成長・個人により異なります。

●概要

口唇裂・口蓋裂は我が国では500～600人に1人という割合で発生する口腔に関する先天的な疾患であり、発生率としては比較的高い疾患です。唇や上あごに亀裂が存在するため、お生まれになった時にはご家族は驚かれるかもしれません。適切に治療すれば現在の医療技術でもほぼ障害を軽微なものとして成人を迎えることができる疾患です。また哺乳の手助けを必要とされる患者さんも含めて、当センターでは多くの治療を適切に行えるよう多数の診療科（部）を集約し、センターとして組織化することにより、診療科（部）間の連携強化と治療の効率化を進めます。

ベビーから成人までの一貫した治療を目指します



センター内に設置された授乳室

お問い合わせ
口唇裂・口蓋裂・口腔顔面
成育治療センター
電話：06-6879-2395

さんしょくしょう

「酸蝕症ってどんな病気ですか？」

お口の相談
コーナー



保存科 病棟医長 高橋 雄介

酸蝕症とは、むし歯ならびに歯周病に続く、第3のお口の病気として注目をされている歯のすり減りのことを指します。酸蝕症の原因は、文字のとおり「酸」なのですが、むし歯と違って、細菌が存在しなくても発生します（下図）。どのような酸が原因になるかという点、主に吐き気などからくる胃酸の逆流によるものと、酸性の食べ物や飲み物による場合に分類できます。胃酸逆流を繰り返す場合は医科を受診する必要がありますが、酸性の飲食物は、みかんやレモンなどの果物やお酢、炭酸飲料、スポーツドリンク、さらにはビールや赤ワインなど、誰もが口にする可能性があるもので注意する必要があります。

注意するといっても、身の回りにはこのような飲食物があふれていますので、それを全く摂るなどというのは無理があります。できる**対策**としては、酸性の飲食物を食べっぱなし、飲みっぱなしにしないということです。たとえば、お茶や水などで口の中をすすいだり、シュガーレスのガムを噛んで、唾液が出るのを促進してやると、口の中にある酸の作用が和らげられるので、酸蝕症の予防には有効と考えられています。

また、酸性の飲食物を口にした直後は極端に**強い歯磨きを避ける**ことも推奨されています。たとえば、みかんなどの果物を食べた直後の歯は表面が目に見えないレベルで溶けている状態にあるので、すぐに歯を磨いてしまうと、歯の表面を削ってしまう可能性があります。

ご自身が酸蝕症ではないかと思われる場合は、当院保存科までご相談ください。



図 酸蝕症により表面が溶けてしまった歯

総合技工室の活動

総合技工室長 林 美加子

歯学部附属病院の2階に位置する総合技工室では、12名の歯科技工士が患者さんの口腔に装着する技工物を作製しています(図1)。また、全国の技工士学校を卒業した10名の技工研修生が、さらなる先端の技術を学ぶべく、経験豊富な技工士の指導のもとに、日々、研鑽を積んでいます。総合技工室は、4年前に全面改修が完了し、明るく清潔で機能的な環境が整いました。そこでは、年間に約1,600件以上の冠(かぶせ)・ブリッジ

や、約800件の入れ歯を作製しています。最近では200件を超えるインプラント関連の技工もてがけており、他の種類も含めると年間で総計4,600件を数える技工物を作製して、歯学部附属病院の診療を支援しています。

昨年11月には、コンピュータがデザインしてセラミック材料などを削り出す先進的なCAD/CAM(キャド・キャム)システムが導入されました(図2)。技工士とともに技工研修生も積極的に取組んでおり、導入以来、すでに100件を超えるセラミック修復物を作製しました。このように、歯科技工分野でも最新鋭のデジタル技術でみなさんの治療を支援しております。



図1 総合技工室での技工物作成

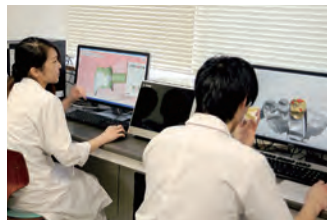


図2 CAD/CAMシステム

国際歯科医療センターが 始動します。

国際歯科医療センター 副センター長
村上 伸也

大阪大学歯学部附属病院で行っている高度な先進歯科医療は、国内のみならず海外においても高く評価されています。そのため、当院で歯科の臨床を勉強したいと希望する外国人歯科医師がたくさんおられます。また、様々な理由から、海外歯科医療機関と相互に患者さんを紹介する機会も、増えてきています。大阪大学歯学部附属病院は、これまでこのようなニーズに応えてきましたが、今の勢いで医療分野の国際化が進展していきますと、個々の職員や診療科ごとの努力だけでは、十分な対応を続けることが将来的に難しくなることが予想されます。

そこで、「国際歯科医療センター」を設置し、海外歯科医療機関との相互の患者紹介、外国人歯科医師の多様な学習ニーズに対応できる臨床研修の提供、外国の歯科医療機関と共

同で実施する臨床研究の推進などに対して、当院全体として取り組む体制を構築することといたしました。当院を受診されている患者さんが、海外に転動しなくてはならなくなったときにも、速やかに現地の医療機関を紹介できるよう、体制を一層整備してまいります。

大阪大学歯学部附属病院が、日本のみならず世界の歯科医療拠点として、期待されている責任を全うし、今後も歯科医療分野の国際化に十分な対応ができるよう努力してまいります。どうか、ご期待ください。



村上伸也副センター長(中央)とスタッフ

お口の
マメ知識



「顎義歯～口腔がん術後の機能回復に役立つ義歯～」

咀嚼補綴科 顎顔面補綴担当 山本 雅章

口にできるがん、口腔がんは外科手術や、放射線治療、化学療法によって治療します。これらによってがんが治ったとしても次に大きな問題が出てきます。それは機能障害です。がんを治すということは、その周りの組織ごとなくなることが多くそれによって大きな穴(顎欠損)が生じます。穴が開くと、食べたり飲んだりすると穴から漏れて食事ができない(咀嚼障害)、鼻声になって人に会話が通じない(構音障害)など生活に大きく支障が出ることとなります。また手術により顔の形が大きく変わり見た目が変化する(審美障害)も生じます。これらは、がんの治療が治ったとはいっても、治療後に続く生活の中でとても大きな問題です。

これらを解決する1つとして、**顎義歯**というものがあります。形態は部位、大きさによって様々ですが、普通の義歯に栓子という穴を塞ぐものが追加されたものが一般的です。これによって、先に述べた問題が解決され、普通の生活に戻ることが可能となります。

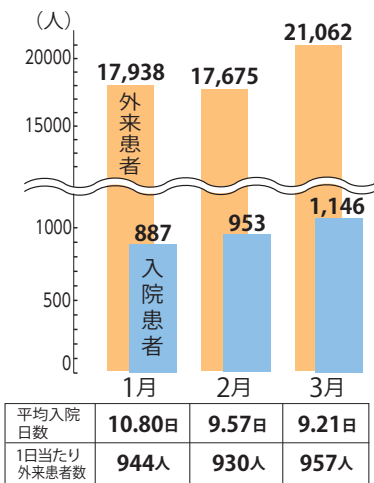
こういった治療は顎顔面補綴治療と呼ばれ、**専門性が強く**一般の歯科医院では対応できない場合がほとんどです。当院で手術された方に限らず、他の病院で手術された方でもお困りの方がいれば、当科までご相談ください。



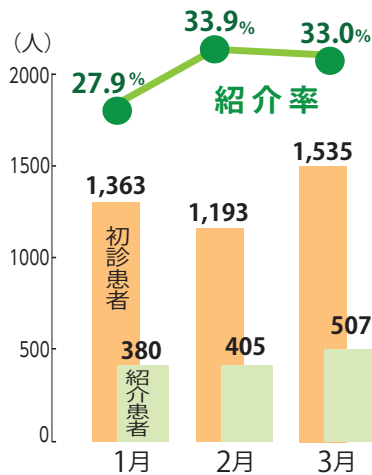
顎義歯の例

1月～3月患者数等統計

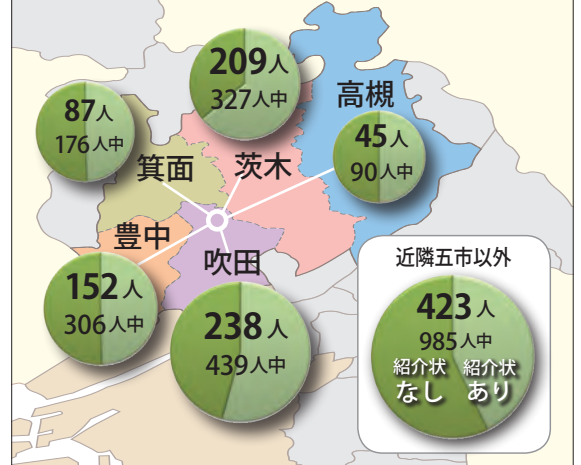
外来患者数・入院患者数



初診患者数と紹介患者数比率

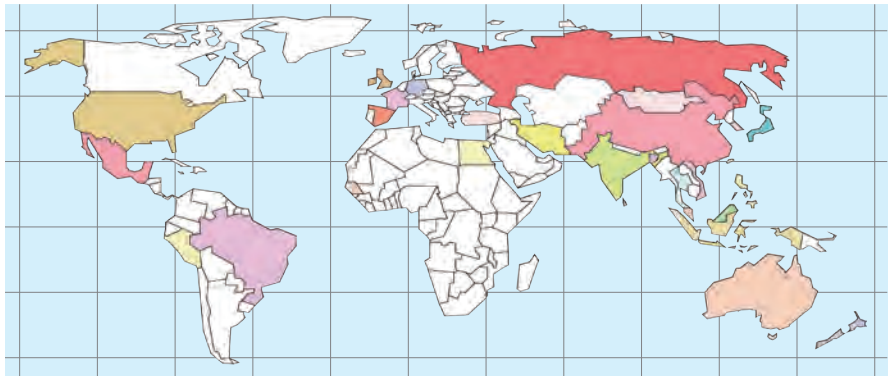
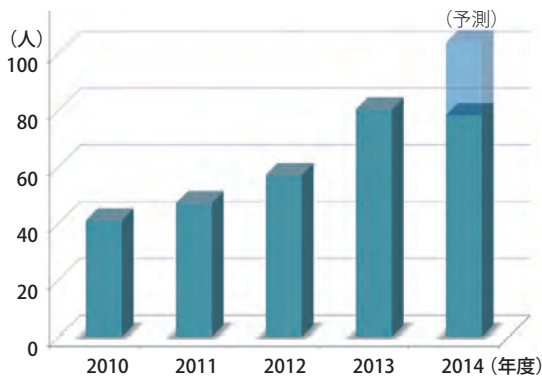


近隣五市の新来患者に占める紹介状持参患者数 (1月、2月、3月集計)



外国籍の患者さんの来院数 (外来) と主な国籍の分布図

【主な国名】…中華人民共和国、インド、インドネシア、タイ、韓国、フィリピン、マレーシア、ロシア、アメリカ合衆国、トルコ、モンゴル、イギリス、スペイン等



◆抽出条件◆ 2010年度から2014年12月18日までに大阪大学歯学部附属病院を受診した外国籍の外来患者さんの人数を集計しました。

病院概要

診療日：月～金 休診日：土日祝日、年末年始 (12月29日～1月3日)

受付時間：【初診受付】8時30分～11時30分 (初めて受診の方、紹介無し可)
【再診受付】8時30分～15時00分 (原則として全科予約制)

住所：〒565-0871 吹田市山田丘1番8号

電話番号：(代表) 06-6879-5111 (時間外) 06-6879-2848

標榜診療科：歯科、矯正歯科、歯科口腔外科、小児歯科

診療内容

口腔衛生指導、虫歯治療、歯周病治療、歯周再生治療、差し歯、入れ歯、インプラント治療、口腔癌治療、口唇口蓋裂治療、障害者歯科治療、摂食・嚥下、スピーチ治療、スポーツ歯科、口臭外来、ドライマウス外来、睡眠時無呼吸、歯の外傷治療等

電話による病気や症状に対する相談には再診料がかかることがありますので、ご承知ください。

夜間休日の緊急診療につきましては、あらかじめ、お電話(06-6879-2848)のうえお越しください。

入院患者さんへのご面会時間は、12時から19時となっております。

病院へのアクセス

http://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/hospital/hospital_000009.html

歯学部附属病院にお車でお越しの際は、西門(歯学部部門)よりお越しください。なお、平日夜10時以降、土、日および祝日は、千里門よりお越しください。

看護師募集中!

—お問合せ—
歯学研究科総務課人事係
06-6879-2834 まで